

きれいな未来を、私たちの手で

喜多方市立第二小学校 六年 梅本 なつめ

通学路の途中に、ごみ捨て場があります。ごみの日になると、たくさんのごみが捨てられています。この間は、周辺にごみが散らばっていました。ふだんはきれいな町なのに。

そもそも、今のごみの状況はどのようになっていくのでしょうか。私は、ごみの量について調べてみました。実は、日本のごみの量は、二千年以降、減っていることが分かりました。また、一人が一日に出す量も同じように減っています。私は、驚きました。身の回りにごみがたくさんあると思っていましたが、実は減っていたのです。なぜ減っているのでしょうか。理由は、いくつかあります。一つ目は、リサイクルの法律が出来たこと、二つ目は国民のごみをできるだけ出さないようにしたこと、三つ目は人口が減ったことです。私は、特に二つ目がすごいと思いました。

しかし、また違う資料も見つけました。なんと、福島県の一人が一日に出す量は、全国で二番目に多いのです。私は、ショックでした。喜多方市も、全国平均より多い量を出しています。これでよいのでしょうか。ごみがたくさん出るということは、その分ごみの処理にお金がかかっているということです。学校で、税金の学習をしましたが、その税金が使われているそうです。ごみを減らすことで、きれいな町にもなるし、豊かな町にもなるということではないでしょうか。

では、どのようにしてごみを減らしたらいいのでしょうか。私たちにできることって何でしょう。解決策一つ目は、リデュース、リユース、リサイクルの3Aールを意識することです。コンビニやスーパーマーケットでよく見る袋やわりばしも、ごみの一つです。マイバックを使うなど、できるだけエコにすることで、ごみを減らすことができます。また、何回も使えるので経済的です。

二つ目は、食品ロスの削減をすることです。買い物前の冷蔵庫チェックや、賞味期限の確認などです。こうすることで、買い過ぎによる残しが大はばに減ります。

また、減らすだけでなく、マナーも大切だと思います。例えば、分別のてつていをする、処理もしやすくなります。ごみ出しの日時を守ればごみは散らかりません。

ごみは、気がつかないうちにわく、世界共通の強敵です。私たちのちょっとした手間でごみが減っていきます。つまり、私たちの意識の問題で改善します。自らの手を動かせば、ごみを分別することも、3Aールもできます。みんなのその手で、すてきなきれいな未来をつくるために行動しませんか。

私は、私の町や福島県が好きです。全国に出来て福島県に出来ないことはありません。大好きな福島県が、よりきれいで、より豊かで、よりマナーを守れる場所になれるように行動していきたいと思います。